



太鼓台祭り



二色の浜産業団地（写真提供元 大阪府港湾局）

Ⅲ 基本計画

将来像
4

ひとと地域の資源を生かし
にぎわいを生み出すまち

施策25 商工業を振興し、 にぎわいと雇用を生み出す

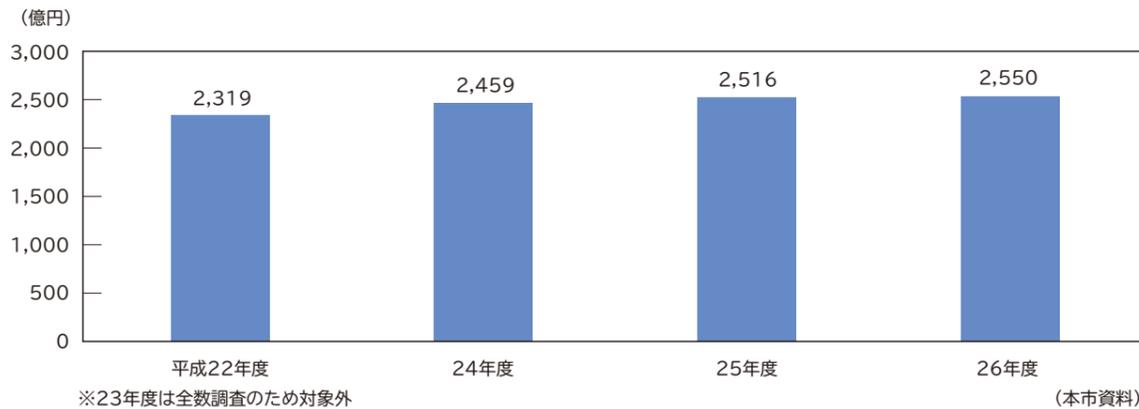
現状と課題

本市では、工業の事業所数及び従業者数は減少傾向にあり、特に製造業が大きく減少していますが、二色の浜産業団地の企業立地及び産業集積拠点の企業誘致の効果により、製造品出荷額等は年々増加しています。

市内では、複数の大型店が開業していますが、商店街では空き店舗が増加しており、後継者の育成や創業者への支援など、空き店舗を解消し、まちのにぎわいを取り戻すことが求められています。

つげ櫛など伝統産業では、技術を承継する人材が不足しており、商工業全体における小規模企業の後継者不足が課題となっています。

■製造品出荷額等の推移



10年後の目標

創業が活発に行われ、市内企業が企業間連携による共同開発や販路拡大などにより活性化し、安定した雇用が生み出されています。

商店街や商業施設の利便性が向上し、常のにぎわいが生み出されています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

- 市内での起業や就業を積極的に支援し、女性や若者を中心とした新たな雇用の創出と市内産業の活性化を図ります。
- 創業者に対する国・府の制度の周知と活用を支援します。
- 新技術・新商品の開発など新たな取組みを行う企業を支援します。
- 商店街の効果的な活用の研究や空き店舗解消の支援を行います。
- 「せんごくの杜」に民間企業を誘致するなど、市内のにぎわいの創出を図ります。

市民・団体・事業所等の取組み

- 商工会議所や商店連合会は組織の強化と事業の充実に取り組みます。
- 商店街は、多くの市民に利用してもらえる魅力あふれる商店街となるような事業に取り組みます。
- 事業者は地域貢献に取り組みます。
- 事業者は新商品の開発・新技術の創出や伝統的な特産品の継承に努めます。

主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 27 雇用機会の確保と就労支援を行う	○商工業の振興により雇用機会を確保する。
施策 28 観光振興により知名度を高め来訪者を増やす	○商業の活性化により観光客の増加を図る。

成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
年間商品販売額	卸売業または小売業の商業で売り買いされた物品の販売額(商業統計調査)	129,475百万円 (平成26年度)	↑
製造品出荷額等	工業統計調査による製造品出荷額等	254,968百万円 (平成26年度)	↑
創業支援制度利用件数	創業する事業者に向けた支援制度の利用件数	26件 (平成27年度)	↑



プレミアム商品券販売風景

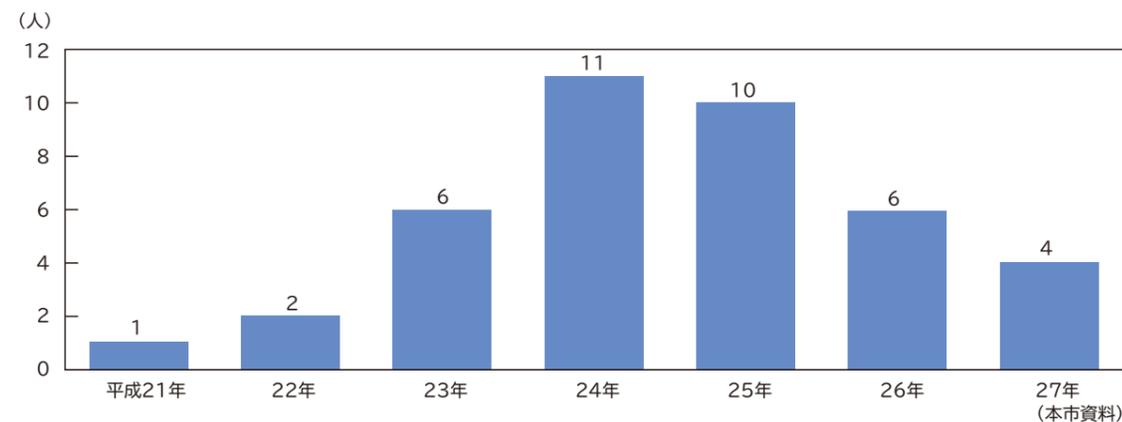
施策26 将来にわたり持続可能な農林業を構築する

現状と課題

本市では山手地域を中心に農業が展開されており、「木積産たけのこ」や「馬場なす」など、ブランド化された農産物も生産されています。市街地にも多くの農地が残っており、伝統的な野菜や新たな品目の果実などが栽培されています。また、農地を災害時の一時避難場所として登録するなど、多面的な活用を図っています。

しかしながら、農業従事者、林業従事者の高齢化に伴う担い手不足、後継者不足が進み、農地・農業用施設及び山林・林道の維持が困難となっており、産業として魅力ある農林業の構築と担い手・後継者の育成・支援を行っていくことが必要です。

新規就農者数の推移



10年後の目標

市民が貝塚の高品質な農林産物に愛着を持ち、全国的にも知名度を上げることによって、販売経路が拡大し、農林業の担い手が誇りとやりがいを持って、仕事に取り組めるようになっていきます。



貝塚産たけのこ



農祭

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

- 地域特産物のブランド化や6次産業化[※]を推進するとともに、高齢化が進む山手地域では、観光型農業を推進することで、農業の高収益化を図ります。
- 農業祭などのイベントを通じ、市民の農業への理解と関心を高めます。
- 本市の農産物の良さを消費者に理解してもらえる機会を増やし、地産地消を支援します。
- 都市農業の安定的な継続を図るとともに、農地やため池・水路の多様な機能を維持するための施策を推進します。
- 農地や土地改良施設の維持管理を支援します。
- 就農希望者受け入れ体制の構築など、多様

- な農業担い手の確保・育成を行うとともに、遊休農地の再生などを支援し、農地の保全や有効活用を促進します。
- 有害鳥獣被害対策について、積極的な捕獲・駆除に努め、報奨金制度の導入、捕獲・駆除加工処理等の広域的な取組みを進めます。
- 森林の整備と保全により、水源涵養や土砂災害防止などの多面的機能を高めるとともに、林道整備や豊かな森林資源の有効活用により林業振興を図ります。

※6次産業化：第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むこと。

市民・団体・事業所等の取組み

- 農業者は地域の農空間を守り、地域農業の持続・発展に努めます。
- 農林業者は農林産物加工品の研究による新商品開発に努めます。
- 農業者は農業関連イベントを充実します。
- 農業者は農家レストラン運営等による地域の活性化、集客に取り組みます。
- 地域に新しい農業者を受け入れる体制を構築します。

主な関連施策

施策名	関連する内容
施策27 雇用機会の確保と就労支援を行う	○農林業従事者の担い手及び後継者の育成支援につなげる。
施策28 観光振興により知名度を高め来訪者を増やす	○市の特産物のPR及び新しい加工品の開発により、知名度を高める。
施策34 まちの魅力を全国に発信する	○市の特産品の情報を発信し、知名度を高める。

成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
新規就農者数	新規に農業に取り組む農業者数	4人 (平成27年度)	↑
農産物加工品の開発件数	市の特産物を利用した新商品の開発件数	2件 (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市農業経営基盤の強化に関する基本的な構想、貝塚市6次産業化戦略・構想

施策27 雇用機会の確保と就労支援を行う

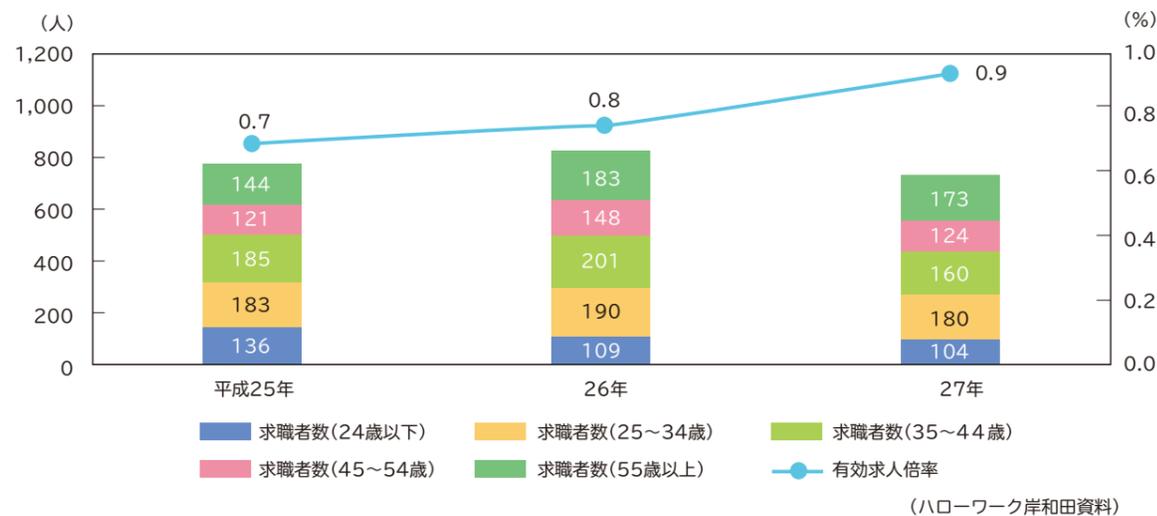
現状と課題

労働市場の自由化が進み、雇用形態が多様化しており、非正規雇用の増加がみられます。本市の完全失業者数は減少しつつありますが、依然として高い水準となっている一方、建築、福祉サービスなどの業種では労働力が不足しています。

非正規雇用やフリーター、ニートなどの増加に対応するため、若年層の雇用環境の向上と就労支援の充実が必要です。

人口減少・高齢化に伴う労働力不足を解消するためには、企業と求職者とのマッチングに対する支援を行うとともに、就労意欲のある女性や高齢者が活躍できる環境づくりが必要です。

■貝塚市・岸和田市における求職者数と有効求人倍率



10年後の目標

就労に必要な情報が適切に提供され、誰もが希望や能力に応じた就労ができる雇用の場が確保され、働きやすい職場環境が整っています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

- 企業と求職者の就労マッチングに取り組み、求職者のスキルアップを支援します。
- 国や府の雇用・労働関係機関との連携を深め、事業所に対して的確な情報提供を行います。
- 雇用を生み出す企業などの誘致に努めます。

市民・団体・事業所等の取組み

- 労働者は労働意欲を高めるため、自己啓発に取り組みます。
- 企業・事業所は積極的に労働基準法等の知識習得と遵守に取り組みます。
- 企業・事業所は福利厚生充実と共済制度への加入に努めます。

主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 1 支援を要する子育て家庭を支える	○ひとり親家庭や子育て中の家庭などに合わせた多様な働き方の拡充に取り組む。
施策 13 悩みを抱える市民に寄りそう	○雇用・就労に関する相談について、関係機関との連携を深める。
施策 25 商工業を振興しにぎわいと雇用を生み出す	○従事者や後継者が不足している分野に向けた就労支援を行う。

成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
事業所数	市内の事業所数	3,459件 (平成26年度)	↑
従業者数	市内で就労する従業者数	33,180人 (平成26年度)	↑
就労支援関連セミナー等受講者数	ハローワーク等が開催する就労支援セミナー等の受講者数	1,176人 (平成27年度)	↑



合同就職面接会

施策28 観光振興により知名度を高め 来訪者を増やす

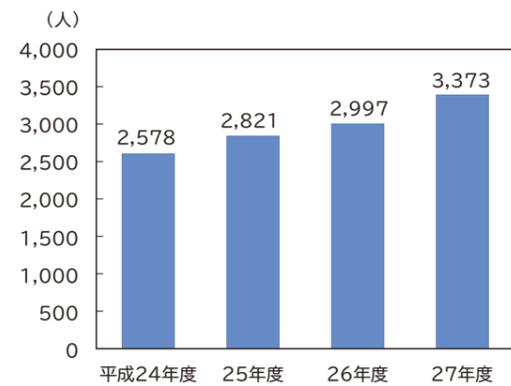
現状と課題

本市は、海・川・山などの自然、古くからのまち並み・街道・神社仏閣などの歴史・文化資源が豊富であり、マリンレジャーを楽しめる二色の浜や、願泉寺を中心とした寺内町、古くから多数の参詣客を集め親しまれている水間寺や孝恩寺などがあります。

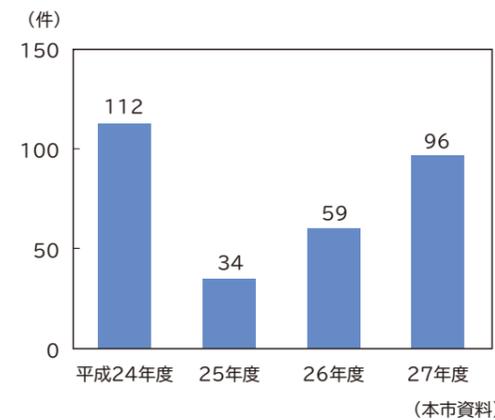
近年、二色の浜公園などで外国人観光客が増加しており、関西国際空港からの好アクセスの活用と、外国人観光客の受け入れ体制整備、歴史的遺産を観光資源として活用するための情報発信が必要です。

さらなる観光振興を図るためには、貝塚の核となる観光名所・イベント・特産品・お土産の発掘・創作や観光施設間の連携、観光振興に関する地域のリーダーの育成が必要です。

■貝塚市観光案内所への来訪者数



■貝塚市観光案内所へのインターネットでの問い合わせ件数



10年後の目標

自然や歴史的魅力にあふれた市内の観光情報が全国に発信され、まちの知名度がより多くの観光客が訪れています。



ボランティアガイドによる寺内町散策



水間寺桜まつり

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

- 地域資源を活用し、観光施設の整備やイベント・特産品・お土産の開拓・創作に取り組みます。
- 飲食・サービス業の新規参入や既存店舗のPRを支援します。
- 無料Wi-Fiスポットの整備やICTツールを活用した海外向け観光情報の発信などにより、外国人観光客の誘致をめざします。
- 観光施設間の連携や観光振興リーダー育成、市と地域との共同の取組み、観光施設や事業者の自発的な取組み促進のための調整及び支援をします。
- 観光客の分析を行い、効果的な観光振興・PRを実施します。
- 泉州地域近畿自然歩道[※]の活用・PRにより、山手地域の活性化に取り組みます。
- 貝塚市観光協会の組織力強化や、貝塚市観光案内所の機能強化及び貝塚観光ボランティアガイド協会との連携強化に取り組みます。
- 近隣市町と連携し、効果的に観光PRを推進します。

※泉州地域近畿自然歩道：和泉市の槇尾山から和泉葛城山を経て岬町の飯盛山までの尾根沿いを繋ぐ自然歩道。

市民・団体・事業所等の取組み

- 市民・団体等が中心となった観光イベントの実施に取り組みます。
- 貝塚の良さを周知するため、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による情報発信など、ICTを活用した貝塚市のPRに取り組みます。
- 地域の歴史の伝承者などが積極的に観光PRに取り組みます。
- 貝塚観光ボランティアガイド協会などの団体は地域の歴史的遺産を生かした取組みを行います。
- 観光事業者は地域資源の掘り起こしや、特産品を利用したグルメの開発に取り組みます。

主な関連施策

施策名	関連する内容
施策26 将来にわたり持続可能な農林業を構築する	○市の特産物を生かした商品を開発し、市の観光魅力の向上につなげる。
施策29 地域の歴史的遺産を守り生かす	○歴史や文化を守り、観光資源として活用する。

成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
観光入込客数	市内の観光地を訪れた人の数	1,617千人 (平成26年度)	↑
観光協会の会員数	観光協会の会員数	81人 (平成27年度)	↑
観光専用ホームページへのアクセス件数	市の魅力を紹介するホームページへの1年間のアクセス件数	26,566件 (平成27年度)	↑

施策29 地域の歴史的遺産を守り生かす

現状と課題

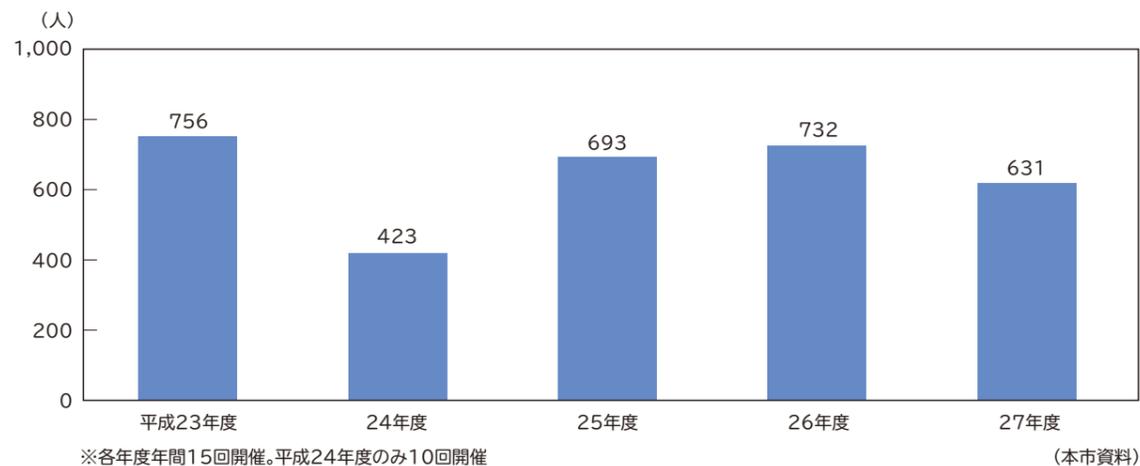
長い歴史の中で生まれ、守り伝えられてきた歴史的遺産は、人々の心の拠り所として生活に安らぎを与え、地域コミュニティの形成に深く関わっています。

本市では、指定文化財をはじめとする歴史的遺産の保存・継承・活用に取り組むとともに、文化財の公開や展示、啓発等により、その価値や魅力を広く周知しており、今後も市民の理解と愛着を深めるための取り組みが必要です。

善兵衛ランドでは、本市が生んだ科学者岩橋善兵衛の功績を展示するとともに、天文施設として広く一般に公開し、他市町村からの利用者也増加しています。

願泉寺を中心とする寺内町では、所有者の高齢化や空き家の増加により、歴史的まち並みを構成する建造物の保存が困難になっている中、これらの資源を活用するための取り組みが必要です。

古文書講座参加者数の推移



10年後の目標

市内に残る歴史的遺産の価値を市民が認識し、行政だけでなく、地域の人々や各種団体が、歴史的遺産の保護と活用を担っています。また、その活動を通じて地域コミュニティが活性化し、多数の人々でにぎわっています。

10年後の目標に向かっての主な取り組み

市の取り組み

- 地域文化財の調査結果の公開や文化財の指定・登録など、文化財の保存を進め、市民の文化財保護の意識の向上につなげます。
- あらゆる世代の人々が地域に根ざした歴史的遺産やまち並みの価値を再認識し、守り親しむことができるような取り組みを行います。
- 寺内町や旧家住宅など、地域文化財を活用した地域づくりを推進します。
- 岩橋善兵衛の功績が影響を与えた学術分野にも研究を広げ、その功績について情報発信します。

市民・団体・事業所等の取り組み

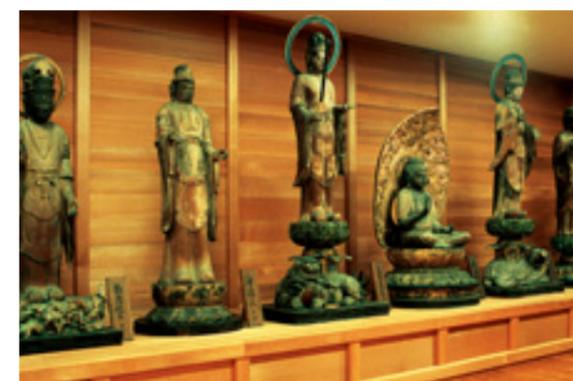
- 歴史的遺産を保存・活用する意識を高めるとともに、後世に伝えるべき伝統文化の継承に取り組めます。
- 所有者自らが歴史的遺産の保存・活用を行います。
- 地域住民を主体とする団体は寺内町を中心とした空き町家の効果的活用に取り組めます。

主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 3 未来を切り拓く力と地域への愛着を持った子どもを育む	○歴史・文化にふれる学習を通して、本市に愛着や誇りを持つ。
施策 28 観光振興により知名度を高め来訪者を増やす	○歴史・文化を生かした観光を振興し、地域の活性化につなげる。
施策 34 まちの魅力を全国に発信する	○歴史・文化を生かしたシティプロモーションを展開し、来訪者の増加につなげる。

成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
歴史・文化に関する行事への参加人数	歴史的遺産の保存・啓発・普及に関する行事に参加した人数	660人 (平成27年度)	↑
文化財の指定・登録件数	文化財を指定・登録している件数	239件 (平成27年度)	↑



孝恩寺重要文化財仏像群



願泉寺